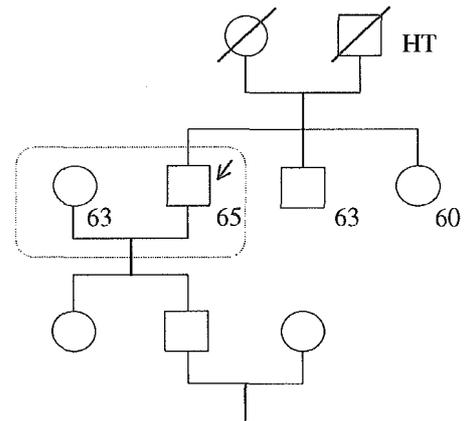


◇既往歴

20歳 盲腸（虫垂炎）で手術。

◇家族歴

- ・妻と2人暮らしです。
- ・父が高血圧症でした。
- ・糖尿病の者はいません。



◇医師の質問に対する対応上の注意点

1. 「ほかに何か症状はありませんでしたか？」などと漠然と質問された場合
⇒「特に思い当たりません」と答える。
2. 具体的な症状を1度に2つ質問された場合
⇒聞かれたものすべてに答える。
(例) Dr「むくみや吐き気はありませんか？」
SP「むくみは感じません、吐き気もありません」
しかし、3つ以上の質問のときは最初の質問のみに答える。
3. 話が進まなくなり、「言い忘れたことは？」と聞かれた場合
⇒患者の気持ち等、話していないことが多くても「特にありません」と答える。
4. 台本にない内容のことを質問された場合
⇒「特に問題ない」「覚えていない」、あるいは自分のこと（例えば食べ物の好みなど）を述べる。
5. プライベートなことと言いたくないことを聞かれた場合
⇒とてもよい感じの医師で信頼できそうなら話し、そうでなく信頼できそうになれば話さなくてよい。
面接の初期段階からプライベートなことを聞かれたら、「そんなことが病気と関係あるのですか」と尋ね、答えなくてよい。

◇その他の設定

中小企業の普通のサラリーマンという感じで演ずる。

評価者氏名

	2	1	0
	good	fair	poor
【インタビューのプロセス】			
1. 挨拶-名前を確認し、自己紹介する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. 患者がリラックスできるようにする		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. 対人空間を適切にとる		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4. 視線を向ける	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5. 話の進め方			
(1) 最初は患者が話をしやすいような質問法を用いる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(2) 話を促進させる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(3) 後半では症状などを明らかにする	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6. 共感的理解の態度を示す	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7. 良好な医師患者関係を築く	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
【インタビューのコンテンツ】			
1. 主訴を十分につかむ			
(1) いつから-経過も (58歳、7年前から、最近時々)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(2) どこが (頭、高血圧)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(3) どの程度 (頭重感は軽い、168/110mmHg)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(4) 随伴症状 (なし)		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. その他の自覚症状を尋ねる (動悸、胸痛、めまい)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. 現在の投薬について尋ねる (服薬中の薬なし)		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4. 食習慣について尋ねる (塩辛いものを好む)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5. 嗜好について尋ねる (タバコ20本、アルコールはビール350ml/日)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6. 運動について尋ねる (ほとんど運動していない)		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7. 解釈モデルを尋ねる (脳出血になるのでは)		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8. 心理社会的側面の情報 (特にストレスはない)		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9. システムレビュー (睡眠、排便、生理など)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10. 既往歴について尋ねる (20歳、虫垂炎で手術)		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11. 家族歴について尋ねる (2人家族、父：高血圧症)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
合計点 38点満点			点

← 良 い | 良くない →
【概略評価】 6 5 4 | 3 2 1

(この医療面接全体の印象を6段階で評価して番号に丸をつける)

【インタビューのプロセス】

1. 名前の確認1点、自己紹介1点、両方で2点。
2. 「遠いところをよくおいで下さいましたね」などを言えば1点。
3. 90度法で視線の合う対座のしかたがベスト。
90度法にならなくとも、視線の合いやすい座り方ならOK。
4. 視線を合せる時間が75%以上なら2点、74～50%なら1点。
(眼を見ながら会話を始めるのがベスト)
5. 話の進め方
 - (1) 2つ目の質問として「その症状がいつから始まって、その後どんなふうになったか詳しく話して下さい」又は「そのことをもっと詳しく話して下さい」と尋ねると2点。直接質問法の場合は0点。その中間的質問の場合は1点。(例えば「いつからとかどんな症状とかを教えてください」)
 - (2) 「それから、どうなりましたか」「それで」などの促進法を用いていれば2点、その他の方法でも促進ができていれば1点。
 - (3) 後半で直接質問法などを用いて症状に関して詳しく聞き、診断治療に役立てようとしていれば2点、最初から直接質問法で情報収集しようとしている場合は1点。
6. 「それは大変ですね」や「とってもつらかったことでしょうね」など、患者の感情に反応すれば2点、言葉は投げかけているが感情を伴わない場合は1点、言葉に出さなくても非言語的な共感が認められれば1点。
7. とても和やかな雰囲気では2点、普通の雰囲気では1点、緊張した雰囲気では0点。

【インタビューのコンテンツ】

1. (1) 「7年前から、最近も時々」が明らかにされれば2点、片一方のみで1点。
(2) 「頭、高血圧」が明らかにされれば2点、片一方のみで1点。
(3) どの程度は168/110mmHgで1点、軽い頭重感が明らかになれば1点、両方で2点。
(4) 随伴症状は特にないが尋ねたら1点。
2. 自覚症状は頭痛、動悸、胸痛、めまい等のうち1つを聞けば1点、2つ以上で2点。
3. 現在服薬中か否かを聞けば1点。
4. 食習慣として「塩辛いものを好む」を聞き出せれば2点、その他の食習慣情報のみでは1点。
5. タバコ20本/日、アルコールは350ml/日、それぞれ1点、合計2点。
6. 運動について聞けば1点。
7. 解釈モデルについて尋ねたら1点。
8. ストレスはないことを聞き出せば1点。
9. システムレビュー（睡眠、排便、生理など）のうち1つで1点、2つ以上で2点。
10. 既往歴について聞けば1点。
11. 家族歴は家族構成がわかれば1点、父の高血圧症が聞けたら1点。

[概略評価]

この医療面接全体の印象を6段階で評価して番号に○をつける。

[評価者がすべき事]

1. 経過時間を知らせる。

1) 医療面接開始後「4分経過」を知らせ、面接を終了させる。ただし、病歴聴取が不十分の場合は、5分後まで医療面接を行わせてよい。5分後には必ず身体診察に移らせる。

2) 身体診察は「7分経過」で打ち切って、次の質問への解答に移ってもらう。
(質問への解答時間は4～3分を確保する。)

2. 血圧測定終了時に実際の血圧値をカードで示す。カードは前もって準備しておく。
(右上肢、左上肢、起立直後)

	評価者氏名			
	3	2	1	0
1. マナーや態度は適切でしたか	きわめて 適切だった <input type="checkbox"/>	適切 だった <input type="checkbox"/>	やや 不適切だった <input type="checkbox"/>	きわめて 不適切だった <input type="checkbox"/>
2. あなたの話に耳を傾けて聴いて貰えましたか	とても良く 聴いて貰えた <input type="checkbox"/>	聴いて 貰えた <input type="checkbox"/>	あまり聴いて 貰えなかった <input type="checkbox"/>	全く聴いて 貰えなかった <input type="checkbox"/>
3. あなたの話は正確に理解されたと思いますか	とても良く 理解された <input type="checkbox"/>	理解 された <input type="checkbox"/>	あまり理解 されなかった <input type="checkbox"/>	全く理解 されなかった <input type="checkbox"/>
4. 医師の話はわかりやすかったですか	とてもわかり やすかった <input type="checkbox"/>	わかり やすかった <input type="checkbox"/>	少しわかり にくかった <input type="checkbox"/>	とてもわかり にくかった <input type="checkbox"/>
5. からだの診察は快適でしたか	とても 快適だった <input type="checkbox"/>	快適 だった <input type="checkbox"/>	少し 不快だった <input type="checkbox"/>	とても不快 だった <input type="checkbox"/>
【概略評価】	とても 良かった <input type="checkbox"/>	良かった <input type="checkbox"/>	少し 良くなかった <input type="checkbox"/>	とても 良くなかった <input type="checkbox"/>
6. 全体の印象として今回はこの医師に診てもらって良かったですか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

特記事項

[]

[]

[]

合計点 18点満点 点

ステーション 7 (課題 2)

(試験開始 4 分後に提示する)

患者：伊勢崎 五郎 65歳 男性

会社勤め (嘱託)

引き続き身体診察をなささい。

(7 分間)

但し、病歴から考えられる疾患、鑑別すべき疾患を念頭に置いて、的を絞った診察を行いなさい。

* 次の 4 分間ではペーパー上の質問に答えてもらいます。

評価者氏名

	2	1	0
	good	fair	poor
【患者への配慮】			
1. 診察をする旨を告げ、了承を得たか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. 診察の種類に合わせて適切に声をかけ、声をかける時の言葉づかいは良かったか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. 手および聴診器を暖めたか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4. 患者に不快感を与える場合は-5点 (服装、髪、ひげ、爪など)		無 <input type="checkbox"/>	有 <input type="checkbox"/> (-5点)
【手技】			
1. 脈・血圧の測定			
(1) 脈拍の測定(両側→数へ)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(2) 血圧を両腕で測定したか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(3) 坐位(又は臥位)と立位で血圧を測定したか	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
2. 心臓の診察			
(1) 心尖拍動を視・触診したか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(2) 心尖部ではベルと膜の両方で聴診したか	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
(3) 心音を3か所以上で聴診したか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. 胸部の診察			
(1) 肺音を6か所(片側3か所)以上で聴診したか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4. 鑑別診断のための診察			
(1) 腹部で血管雑音を聴取したか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(2) 動脈拍動を両側足背動脈、又は後脛骨動脈で触診したか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5. 眼底鏡検査			
(1) 眼底鏡検査の手技は良好か	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(2) 眼底所見を述べたか(動脈狭小化、交差現象など)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
合計点 28点満点			点

身体診察評価マニュアル

【患者への配慮】

1. 診察の導入： [例] 「それでは診察をさせていただきますか。」等を述べていれば得点を与える。
2. 毎回声をかけ、言葉遣いが良ければ2点。その悪さの程度に応じて1点減点。
3. 手および聴診器を暖めていれば2点。片方のみなら1点。
4. 患者に不快感を与える場合とは、
 - 服装：ジーンズ、ノーネクタイ（ケーシースタイルは可）
 - 頭髪：金髪、激しい茶髪など
 - 無精ひげ
 - 長い爪、派手なマニキュア

【手技】

- 1—(1) 脈拍：両側を触診した後に片側で脈拍数を測れば2点、脈拍数のみ測定した場合は1点。
 - (2) 血圧：両上腕で測定すれば1点、片側のみなら1点。
 - (3) 起立性低血圧をチェックすれば2点。
- 2—(1) 左側臥位で心尖拍動を視・触診すれば2点、仰臥位で行えば1点。
 - (2) 心尖部ではバルと膜の両方で聴診すれば2点。
 - (3) 心音を心尖、肺動脈弁、大動脈弁、三尖弁のうち3か所以上で聴診すれば2点、2か所では1点。
- 3—(1) 肺音は前面と背面でそれぞれ6か所以上聞けば2点、片面のみでは1点、6か所以下なら1点。
- 4—(1) 腹部での血管雑音は両腎動脈領域で聴けば2点、片側のみ、中央、あるいは部位が不適當の場合は1点。
 - (2) 足背動脈を両側触診すれば2点、後脛骨動脈を両側でも2点、触診部位が不適切な場合は1点。
- 5—(1) 眼底鏡の手技が完全ならば2点。5cm以上離れている、眼底鏡の持ち方、片眼のみ観察などの問題があれば1点。
 - (2) 細動脈狭小化、交差現象、動脈の湾曲。狭窄、銅線様効果、乳頭浮腫なし、のうちから2項目以上指摘できれば2点、1項目のみで1点。

	評価者氏名			
	3	2	1	0
1. マナーや態度は適切でしたか	きわめて 適切だった <input type="checkbox"/>	適切 だった <input type="checkbox"/>	やや 不適切だった <input type="checkbox"/>	きわめて 不適切だった <input type="checkbox"/>
2. あなたの話に耳を傾けて聴いて貰えましたか	とても良く 聴いて貰えた <input type="checkbox"/>	聴いて 貰えた <input type="checkbox"/>	あまり聴いて 貰えなかった <input type="checkbox"/>	全く聴いて 貰えなかった <input type="checkbox"/>
3. あなたの話は正確に理解されたと思いますか	とても良く 理解された <input type="checkbox"/>	理解 された <input type="checkbox"/>	あまり理解 されなかった <input type="checkbox"/>	全く理解 されなかった <input type="checkbox"/>
4. 医師の話はわかりやすかったですか	とてもわかり やすかった <input type="checkbox"/>	わかり やすかった <input type="checkbox"/>	少しわかり にくかった <input type="checkbox"/>	とてもわかり にくかった <input type="checkbox"/>
5. からだの診察は快適でしたか	とても 快適だった <input type="checkbox"/>	快適 だった <input type="checkbox"/>	少し 不快だった <input type="checkbox"/>	とても不快 だった <input type="checkbox"/>
【概略評価】	とても 良かった <input type="checkbox"/>	良かった <input type="checkbox"/>	少し 良くなかった <input type="checkbox"/>	とても 良くなかった <input type="checkbox"/>
6. 全体の印象として今回はこの医師に診てもらって良かったですか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

特記事項

[]

[]

[]

合計点 18点満点

点

ステーション 7 (課題 3)

(試験開始11分後に提示する)

患者：伊勢崎 五郎 65歳 男性

会社勤め (嘱託)

この患者さんから得られた診察所見を記載し、考えられる診断名と、検査計画を記入して下さい。

残りの時間 (約 4 分間) で行って下さい。

診療録

受験番号

受験者氏名

評価者氏名

身体所見：

診断名：

鑑別すべき疾患（もしあれば）

検査計画：

筆記試験評価マニュアル

満点は、41点

◇身体所見

身体所見は、各々1点ずつ。合計10点

1) 血圧：右上肢162/102mmHg、左上肢158/104mmHg、起立時154/110mmHg

2) 眼底所見：

陽性所見：細動脈狭小化、交差現象、動脈の湾曲・狭窄、銅線様効果

陰性所見：乳頭浮腫

3) その他：

- ・両腎動脈血管雑音なし
- ・両足背動脈触知可、左右差無し

◇診断名：本態性高血圧症…3点

◇鑑別診断：腎実質性高血圧症、内分泌性（原発性アルドステロン症、クッシング症候群、褐色細胞腫）、腎血管性高血圧症…各々2点

◇検査計画

各2点（血液生化学検査も各項目2点）、合計16点

- ・尿検査
- ・血算（CBC）
- ・血液生化学検査（クレアチニン、電解質、空腹時血糖、脂質）
- ・胸部エックス線撮影
- ・心電図検査

レニン活性、血清アルドステロン、17-OHCS、尿中VMA、などの検査を初回に行うのは、医療費効率の点から推奨されていないので、1項目につき1点減点する。

(1) 右上肢

只今の血圧は、
162/102mmHg

(2) 左上肢

只今の血圧は、
158/104mmHg

(3) 起立時 (立位、又は、座位) ——直後

只今の血圧は、
154/110mmHg

ステーション 8 (課題 1)

患者：太田 裕 様 58歳 男性

ここは総合病院の内科外来です。

体重減少と喉の渇きを感じていた人が、今朝から視野に見えない部分があることに気がついて受診しました。

課題は 1 ～ 3 まであり、全体の制限時間は 15分です。

(このステーションの時間配分は 5 ～ 7 分を目安にしてください)

〈事例設定〉一（体重減少と喉の渇き）一

太田 裕 58歳 男性 損害保険会社の営業担当

◇場面設定

1～2か月前から喉が渇き、少し体重が減った。今朝、目が覚めたら、右目の視野の上の方に黒っぽい塊があって見えにくい部分がある。眼科に行こうかと思ったが、まず内科で診察してもらおうと思う。

◇患者の気持ち

7年前に健康診断で糖尿病と診断されていたが、自覚症状もないので放置していた。

今朝、突然、視野の上方に黒い塊があって見えにくくなり、糖尿病では目が悪くなると聞いていたので心配だ。放置しておかなければよかったと悔やんでいる一方、自分に限ってそれほど悪くはないだろうという気持ちもある。

◇現病歴

1. 何もさげられない時に自ら話す内容

今朝、目が覚めたら、右目に見えにくい部分があるんです。眼科に行こうかと思ったけど、以前、糖尿病だっていわれたことを思い出して…、糖尿病では目が悪くなるって聞いていたんで、まあ、何の症状もないから自分じゃあたいたことはない と思うんですけど、とりあえず内科で診てもらってからと思ってきました。

2. 医師から尋ねられたら話す内容

- 右目にある見にくい部分とは＝視野の上の方に黒っぽい塊があって…その部分は見え難いんです
- はじめて糖尿病だといわれたのはいつか＝7年前だったと思います
- どんな機会に指摘されたのか＝勤務先の健康診断です
- 糖尿病が指摘されてからの治療は＝会社の医務室からは病院に行行って言われましたけど、何の症状もなかったのとくに病院には行きませんでした
- 口渇はあるか＝渇くっていうより、口の中がねばつく感じです
- 口渇を感じるようになったのはいつからか＝1～2か月位前からのような気がします
- 口渇を感じる時は何を飲むか＝ジュースやコーラの類いをよく飲みます
- 夜、寝てから排尿に起きるか＝2～3回起きますけど、寝る前に飲むから当たり前だと思います
- 体重の変化はないか＝2か月で2～3キロくらい減ったみたいです。正確に測ってはいないんですが…
- 足がしびれることはないか＝両足の裏が少ししびれていて、夜、ベッドに入ってから足の裏に紙が一枚張り付いているみたいに感じることもあるんです。朝は、しびれよりもグーッと痛むことがあるんですが…
- 足の痛みとはどんな痛みか＝朝、仕事に行こうと歩き出すと、300メートルくらい歩いたとこ

ろで右足のふくらはぎがグーッと痛むことがあるんです

- ふくらはぎが痛んだ時はどうするのか=ちょっと立ち止まると痛みは引いていきます。その時に丁度信号が赤になると、痛みは治っちゃいますが…

◇既往歴

1. 過去に経験した病気や怪我、健康診断で指摘されたことなど：

「そういえば、何年か前の健康診断の報告書でコウシケツなんとか…と書かれたことがあったような気がします」「22歳の時に盲腸の手術をしました」

(高血圧を指摘されたことはない。眼科的異常も指摘されたことはない)

2. その他の情報

肥満歴：36歳時の78～80kgが最大（身長170cm）、2か月前まで不変

嗜好品：たばこは19歳から25～30本／日、日本酒はほとんど毎日1～2合程度

学歴／職歴：大学を卒業して損害保険会社に就職。転勤も何回かあった。現在は管理職。毎朝、徒歩で15分、電車で40分で会社に着き、打ち合わせの後、週に1～2回は午後から取引先の会社の人と会う。夜は会食が週に2～3回。

◇家族歴

妻と娘二人の四人暮らし。

妻は実家の保険代理店の事務を手伝っている。(月曜～金曜、10時～17時)

長女は30歳のOL、次女は26歳のOL

父は太っていた。脳梗塞で76歳で死亡、糖尿病や高血圧の有無は不明

母は76歳で“心臓発作”で死亡。「糖尿病があったと聞いています」

61歳の兄が1名いる。「確か、3年くらい前に心臓のバイパス手術をうけたと聞いているんですが、田舎に居るので詳しくはわかりません」

◇医師の質問に対する対応上の注意点

1. 糖尿病について、自分の身に何かが起こるほどとは思っていなかった。「目に来る」と聞いていたことが突然我が身に起こったので不安になり、少々動転している。
2. 歩き始めに足が痛くなり、立ち止まると治まること（間欠性跛行）については、糖尿病と関係があるとは思っていない。医師から尋ねられて不審に思い「何でこんなことを聞くんだろう」という思いがある。

(医療面接共通部分：ここでは記載を省略するが、実際に使う評価表では省略しない)

このStation に特化されている部分：

	2	1	0
1. 視野の異常の詳細を確認したか		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. はじめて糖尿病を指摘された時期とその後の対応を聞いたか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. 口渇の有無と自覚するようになった時期を聞いたか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4. 口渇時の対応を聞いたか		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5. 夜間の排尿回数を聞いたか		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6. 体重減少の程度と期間（何か月で何キロ）を聞いたか		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7. 末梢神経症状（足のしびれ）の有無を聞いたか		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8. 下肢の痛みの誘因を確認したか		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9. どうすれば下肢の痛みが軽減するか確認したか		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10. 過去の肥満歴を確認したか		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11. 高脂血症の有無を質問したか		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
12. 糖尿病の家族歴の有無を聞いたか		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

合計点 14点満点

点

← 良 い | 良くない →

【概略評価】 6 5 4 | 3 2 1

医療面接評価マニュアル

(医療面接共通部分は省略)

このStation に特化されている部分：

1. 視野の異常の詳細を確認し、右眼の「視野の上の方に黒っぽい塊があることが判明すれば1点。
2. はじめて糖尿病を指摘されたのが7年前の健康診断であることが判明すれば1点、以後放置が確認できれば1点。
3. 口渇があることを確認すれば1点、自覚するようになった時期が1～2か月前であることが判明すれば1点。
4. 口渇時に清涼飲料水を飲むことが判明すれば1点。
5. 夜間の排尿に2～3回起きることが判明すれば1点。
6. 体重が2か月で約2～3kgの減少があることが判明すれば1点。
7. 末梢神経症状（足のしびれが有ることが判明すれば1点。
8. 下肢の痛みは右足で、朝の歩き始めに発症することが判明すれば1点。
9. 立ち止まると下肢の痛みが軽減することが判明すれば1点。
10. 過去の肥満歴を確認すれば1点。
11. 高脂血症の有無を質問すれば1点。
12. 糖尿病の家族歴の有無を質問すれば1点。

ステーション 8 (課題 2)

(試験開始 5～7 分後に提示する)

患者：太田 裕 58歳 男性

前のステーションで医療面接をした人（模型）です。

眼底を観察して所見を述べなさい。

(このステーションの時間配分は 3～4 分を目安にして下さい)

	1	0
1. これから眼底検査をすること、眩しい旨を告げたか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. 屈折異常（眼鏡使用）の有無を確認したか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. 眼底鏡（直像鏡）のスイッチを入れランプやダイヤルを確認したか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4. 「遠くを見るつもりで…」と視線の方向を指示したか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5. 直像鏡の持ち方は正しいか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6. 診察手順は正しいか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7. 検者の右眼で患者の右眼を、検者の左眼で患者の左眼を観察したか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8. 眼底所見（右眼底の出血スライド）を正しく記載したか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
合計点 8点満点		点

← 良 い | 良くない →

【概略評価】 6 5 4 | 3 2 1